

中国と韓国

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし **アジア州** ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州

今日の問い

中国や韓国は、どのようにして経済を大きく成長させたのだろう。

読み終わったら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 中国の人口と農業

人口と農業

かんぞく
漢族(漢民族)

中国の人口の約9割をしめる民族。

ひとりこせいさく
一人っ子政策

人口の増加をおさえるため、1979年から進めた政策。2015年に廃止。

中国は約14億人が暮らす、世界有数の人口の多い国である。人口の約9割は**漢族**(漢民族)で、ほかに50あまりの**少数民族**が暮らす。人口の増加をおさえるため、1979年から**一人っ子政策**が進められたが、高齢化が進むなどしたため、2015年に廃止された。

農業は、地域の気候によってちがう。雨の少ない北部では小麦や大豆などの畑作、雨の多い南部では稲作がさかんで、乾燥した西部では羊などの牧畜が行われている。

中国の地域	主な農業
北部(雨が少ない)	小麦 ・大豆などの畑作
南部(雨が多い)	稲作 。茶の栽培も
西部(乾燥・高地)	羊などの 牧畜

2 経済の発展と韓国

経済の発展

けいざいつく
経済特区

外国の企業を招くため、税金を安くするなどの優遇をした地区。

アジアNIES

韓国・台湾・シンガポールなど、急速に工業化した国や地域。

1970年代の終わりから、中国は外国の企業や技術を取り入れる政策に転じ、沿岸部に**経済特区**を設けた。工業が急速に発展し、工業製品を世界に輸出する「**世界の工場**」とよばれるようになった。一方で、沿岸部と内陸部の**経済格差**や、大気汚染などの環境問題が課題である。

となりの**韓国**は、1960年代から工業化を進め、造船や鉄鋼、さらに**半導体**などの**ハイテク産業**を発展させた。韓国や台湾、シンガポールなどは、急速に工業化したことから**アジアNIES**とよばれた。



中国と韓国の主な都市

シェンチェン(深圳)などの経済特区は、南部の沿岸に設けられた。ペキン(北京)は中国の、ソウルは韓国の首都。

問いへの答え

中国は、1970年代の終わりから沿岸部に経済特区を設けて外国の企業や技術を招き、工業製品を世界に輸出する「世界の工場」となった。韓国も1960年代から工業化を進め、半導体などのハイテク産業を発展させた。一方、中国では沿岸部と内陸部の経済格差や環境問題が課題となっている。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

